小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

地域句廷支援セン

法人名	ささえあいコミュニティ 生活協同組合新潟	代表者	高見 優
事業所名	小規模多機能型居宅介護 ささえ愛あわやま	管理者	星野良子

法人・ 事業所 の特徴 平成18年に開所して14年となりました。民家を改装したデイルームの大きな窓からは陽ざしがあ ふれ、家庭的な雰囲気の中で季節を感じる庭を見ながら一緒に食事をし、利用者様と共に生活し、さ りげなく丁寧に支援をおこなうことを大切にしています。「居心地の良い場所」を目指し小規模多機能 「ささえ愛あわやま」の特徴を活かした、支援のかたち、深い馴染みの関わりから「看取り」までご 家族様と一緒に大切に行ってきました。住み慣れた地域でご自分らしく穏やかな日常生活を送ってい ただき、ご縁を大切にありのままの利用者様の望まれる生活を支援しています。

出席者	市町村職員	知見を有するもの 地域住民・地域団体		利用者家族		地域包	回括支援セン ター	近隣事業所	事業所職員		その他	合計	
FT/1111. E		人人人	2 人	1人	1人		1人	人		5 人	人	10 人	
項		目 前回の改善計画		前回の改善計画に対する取組み・結果			意見			今回の改善計画			
		チームケアを実践で	きる職場環境づくり	・チームケアを実践するために職場環境を大			・昨年と同じ記載があるが、事業所は			・事業所の安定、質の向上にはチームケア			
A. 事業所自己評価の 確認	・定期的に事業所が目	指すものを職員研修	事にしてきました			それが大事なことだと再認識、結論なん			が欠かせないので職場環境を大切にしま				
	や場面ごとに発信し	共有する	・職員会議や、必要な場面で事業所が目指す			だと解釈した。次年度に期待します。			す				
	・定期的に自己評価す	ることを継続	ものを職員間で確認、共有できる場面をつ		・事業所が目指しているものが何かを伝え			・事業所の目指しているものが何なのか					
	・取り組み内容を運営	7 m	くってきました		る場面が大切なので職員会議や必要な場			場面ごとに発信していきます					
	.,	一緒に考え実践して	いく	・定期的に自己評価を行いました		面ごとに伝えていくことは大切です		・「家族の会」を開き遠慮しないで自由に話					
				推進会議に報告し一緒	皆に考)結果を運営推進会議		せ、交	流できる機会をつ	くります		
		to total a surat.		えて実践しました			,	だき反映しています					
	・行事案内を継続し、		11 1 2111 1 - 211	こ発信し、来所者には		15	マ室もゆったりと良レ	71170 17		/一ムの大きな窓か			
		い時間、空間を提供					・デイルームの大きな窓から季節を感じる			れ、家庭的な日常音、料理の匂いや利用			
		でいただけるように	配慮と工天をする	でいただけるように配慮と工夫をしまし			景色が見られ、あふれる陽ざしのもと ゆったりと過ごせて理想的です			者、職員の笑い声があふれる居心地の良 い環境を継続します			
B. 事業所	rの	・防犯対策として玄関	の体砕け合む立てた	た。たりの大学は今日	を守るために必要と考	z. > +66		と適こせく理想的で 3常音、料理の匂い。	*		[を継続しよう /ームにソファーを	出めしてはも	
しつき	5え・環境	めに必要と考え機会			どするにめに必要とそ 発信してきました	うん(筬	×3-00-11	コネ音、科理の写い。 こえ心地良い居場所で	. , , .		〜ームにフファーを つろげる居場所を		
	3,C 3K3E	のに必安と与ん機会	があるために光頂し			+1	,		- /		- /		
		・裏庭の出入り口の鍵	を簡易かものに直し	・裏庭の出入り口の鍵を簡易な物に直しました			利用者の美術作品が飾られていて温かさ が感じられて良いです			・玄関の施錠は防犯上必要だと機会がある たびに発信していくことを継続します			
		ます	と自然なりがに置し	/_		・玄関の施錠は必要です			たいに発信していくことを極続しまり				
		・近隣の方達とは普段。	から挨拶をしたり、	・近隣の方達と日常	常的に挨拶や関わりを	~深め	,,	2、送迎時、訪問時/	こ職員から	・ 近隣の	方達とは普段から	,「一声がけ」の	
		会話をしたり、良い		られるように心がけました			の挨拶の声がけは大事なことです			挨拶や会話をして、良い関係を継続しま			
		続していく		・行事案内をスーパーや玄関前に提示し			・地域のお祭りで子供達が水ヨーヨーの出			す			
	C. 事業所と地域の	・茶の間的交流スペー	スがないので地域の	「ご自由にどう	ぞ」と明記し、玄関も	開い	店を楽しみ	よにして来てくれる	姿をみると	• 粟山神	社の「地域の茶の	間」に利用者様	
C. 事業所		方々にも参加してい	ただき交流を深めら	ていて入りやする	さをアピールしました	÷	地域に根差	をしていることを感じ	じます	が楽し	める内容の時に参	加をします	
かかれ	つり	れるように行事の機	会を充実させる	・粟山神社内の「₺	也域の茶の間」には利	川用者	・事業所の行	す事に合わせて地域の はまれば、	の方が楽し	 事業所 	「の行事に合わせて	.、地域の方が楽	
	ŕ	・粟山神社の「地域の	茶の間」に利用者様	様が楽しめる内容	容の時に参加をしまし	ンた	,	足を運んでいただける	るような機	しみな	がら、足を運んて	ごいただけるよう	
		が楽しめる内容の時	には参加する				会を計画し	、 てみましょう			術」の機会を充実		
											や回覧版には作品		
											機会」を充実させ		
		外出することの喜び			画を立ててから実施し			つせて梅、お弁当を打			ることの喜びと事		
D. 地域に	出向いて	両面があるので充	2 · · · · · · · - · · · · · · · · · · ·		配慮したので外出時	ずの事		藤の花の外出は、家族			ので充分な計画を		
		施することをこれか	- 0.11-12-7 -	故は今年も無かったの英字		2		としませてもらい嬉し			れからも継続しま	*	
, ,	D暮らしを	・今までの暮らしを地	啾で継続できるよう		完やスーパーに送迎し)美容室、スーパー(の暮らしを変わり		
支える取組み	に支援をする	りのトフギャシャナ		自分らしいこだわり <i>の</i> キュキ)時間		、規模多機能ならの良 のしからま 頼られる			ような支援を継続	/		
		・これからも利用者以	クトいよりす相談や文	を楽しまれている。	J 1 -		1 47 11 11 2 11	トの人からも頼られる t	のは大争		ゝらも利用者以外の 3徳しまた	ノよつう 相談や文	
		援を継続する		利用者以外の支持	友も1∫いました		なことで	9		援を継続します			